

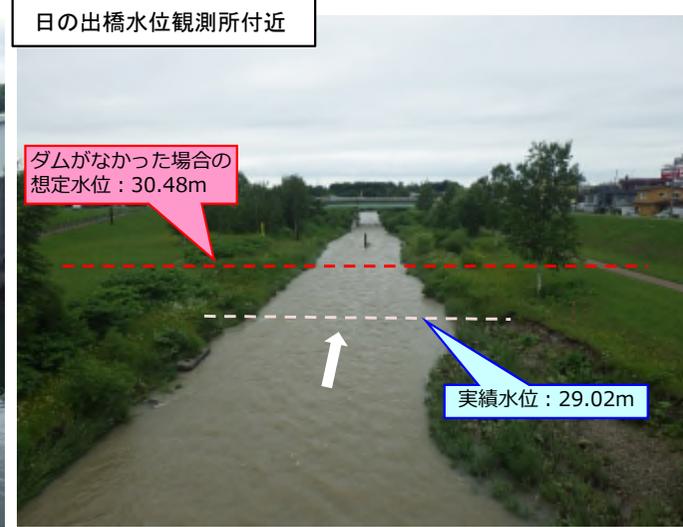
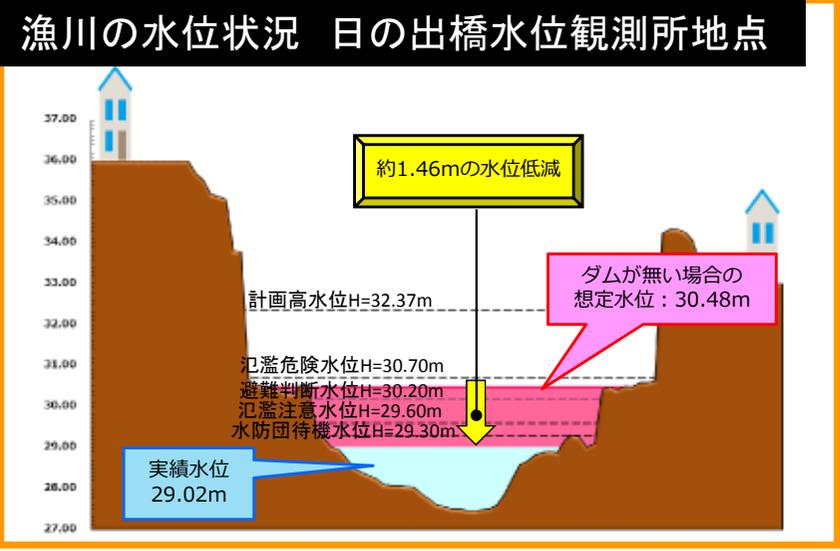
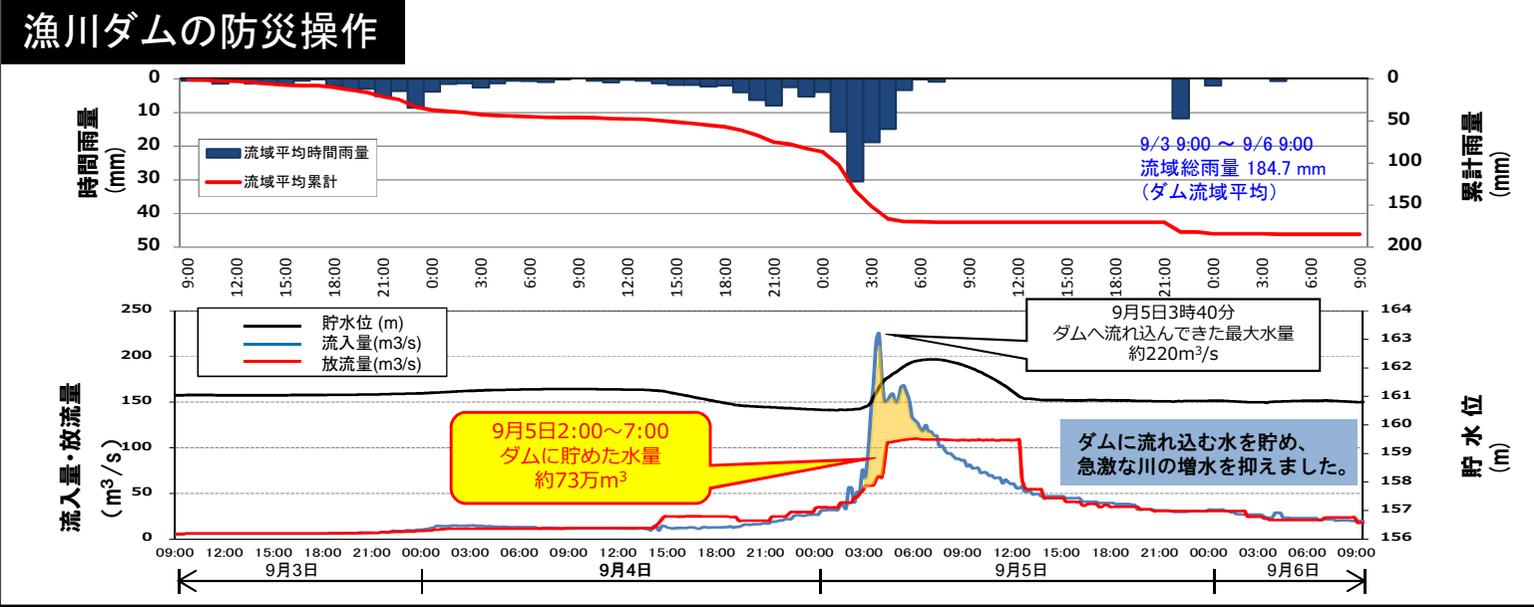
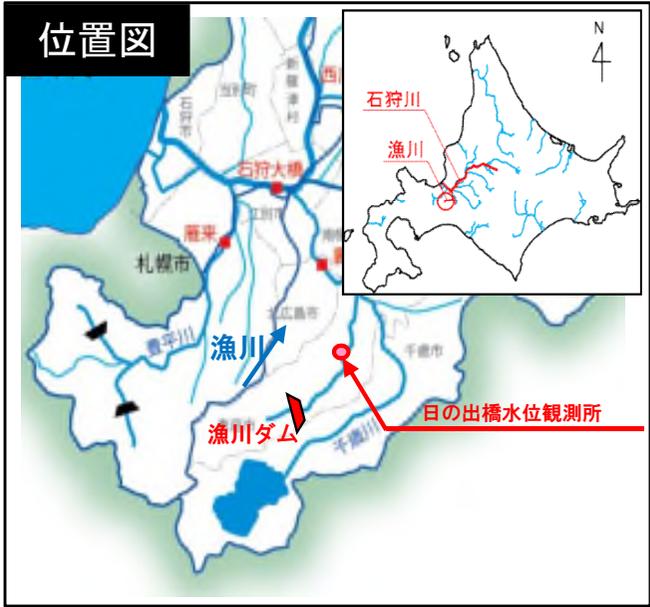
ダム整備が効果を発揮(北海道 漁川ダム)(国管理)

○平成30年9月3日～5日の降雨により、漁川ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測しました。

○このため漁川ダムでは、5日2時から7時までに、約73万m³(札幌ドーム約0.4杯分)の水を一時的に貯留することで下流河川の水位低減を図り、下流の恵庭市(日の出橋観測地点)では、約1.46m水位を低減させる効果があったものと推測されます。

○仮にダムが整備されていなければ、避難判断水位^{*}を上回る出水となっていたことが推測されます。

^{*}避難判断水位: 市町村からの避難準備情報などの避難情報が発表される目安となる水位



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。